

べっかい 議会だより



59

父から娘（こ）へ酪農の「技」と「志」を受け継ぐ

特集

災害に強いこれからの地域づくり2
～総務文教常任委員会報告～

町政のここが聞きたい8
一般質問（中村・西原・瀧川・森本の4議員）

常任委員会活動報告 ～福祉医療・産業建設～13

シリーズ 志を受け継ぐ 酪農業 安部早由里さん16



2011.11.1
北海道別海町議会

安心して暮らせるまちづくりを!

総務文教常任委員会では、6月17日、7月21日、10月4日に町の防災体制などについて所管事務調査を行いました。その内容を報告します。

防 災

東日本大震災では、あらゆる面で想像を超える被害が出たことから、国や道においても防災関連施策の再点検を行っており、当町も今後出される指針をもとに「地域防災計画」の見直しを図っていく必要があります。

災害に強い地域づくりを目指して施設の整備状況や防災関連施策の調査を行いました。

地域防災計画

地域防災計画の見直しについては、国・道と連携をとり、町の地域防災計画やハザードマップの見直しを進めていくとのことでした。

現在、海岸地区には防災センターや防災無線、潮位計が設置されていますが、内陸部での震災対策については

不安もありますので、各関係機関の協力を得ながら対応していくとのことでした。

避難所の整備

七月二十一日に防災体制の確認として、三か所の防災センター（走古丹、本別海、床丹）を視察しました。

三か所とも備蓄品を含めて、住民が安心できる体制が取られていました。

本別海に設置されている潮位計と、高台への避難通路を確認。さらに、道の駅として新装なった北方展望塔も避難場所に指定されおり、その状況を確認しました。

また、尾岱沼地区避難路の非常階段は設置されましたが、エレベーターの設置はありません。車椅子利用者については、対応を検討していくとのことでした。

学校等の耐震化

教育施設の耐震改修について、野付小学校の体育館、上春別中学校および上風連小学校の耐震改修の状況を確認しましたが、安全・安心が確保されています。

今後、他の公共施設の耐震化を計画的かつ積極的に推進していく必要があると実感しました。

防災教育の推進

防災教育の取り組みについては、学校の教育計画の中に「防災」を盛り込んで、防災学習・教育・訓練に取り組んでいます。

防災情報管理

海岸線部の全家庭に防災無線が配備され、避難勧告・指示が的確に行われるようになって

ています。

また、尾岱沼・別海漁港内への防災用監視カメラの配置を計画。漁場監視用暗視カメラや開発局の防災WANシステム[※]、既設の潮位計の活用などにより、これまで以上の迅速かつ的確な情報収集や災害対応が期待されます。

支えあう友好都市

広域的な大災害に備え、友好都市三市一町それぞれの地理的メリットを活かした「災害時における応援協定」の締結があり、協力し合う体制がつけられたことを確認しました。



上春別中学校体育館を視察する総務文教常任委員

※防災WANシステム
大規模災害に備え高速大容量の通信網により各機関を結んで情報を共有するシステム

特集 災害に強いこれからの地域づくり

住み慣れた地域の中で



本別海地区で行われた防災訓練

その他の調査

総務文教常任委員会でこれまでに行ってきた防災以外の調査について報告します。

消防および救急

十月四日に行った現地調査では、消防の出勤状況、機器類の状況を調査し、また救命救急やAED操作についても指導していただきました。火災の件数はここ数

年減少傾向にあります。が、火災の原因では電気器具・配線器具類、タバコの不始末などで、未然に防げた火災が多くなっています。

ドクターヘリの運航状況は、二十一年度十一回、二十二年度三十八回の運航があり、今後も増加が予想されます。

東日本大震災

震災直後から支援物資の募集や募金活動が活発に行われ、多くの

物資や募金が被災地に届けられました。

また、被災者の受け入れや空き部屋の提供なども個人の皆さんから申し出がありました。

自治体から被災地への人的支援については、緊急消防援助隊として、別海消防署から二名が石巻市へ派遣され、職員組合から一名が宮古市へ、看護師の二名が宮城県へそれぞれ派遣されました。町としては今後も募

金活動を継続しながら、避難要請があれば、できる限りの対応をしたとのこと。

社会体育・教育施設

町民体育館は、今年耐震改修し、災害時避難施設として安全が確保されました。

中央公民館は、昭和四十六年に社会福祉センターとして建設され、今年で築四十年となります。

本施設は何度が改修されたものの老朽化が著しく、現在、教育委員会が中心となつていろいろな検討が進められています。

仮称「生涯学習センター」建設に向け、早急かつ具体的な取り組みが必要であることを改めて認識しました。

結びにつ

今回の所管事務調査を終え、防災施設が次々と整備される中、さらに、自主防災組織など人と人のつながりの充実をふくめた災害に強い地域づくりへの積極的な対応が必要であると実感しました。



別海消防署の体制を確認しました

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 佐藤初雄 |
| 副委員長 | 丹羽勝夫 |
| 委員 | 安田輝男 |
| 委員 | 戸田憲悦 |
| 委員 | 今西和雄 |
| 委員 | 森本一夫 |

**9月
定例議会**
9月13日～16日開催

9月定例議会は、9月13日から4日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

平成23年度 補正予算概要

補正額	予算総額
一般会計（2回目の補正）	
6,620万円 増	148億6,340万円
国民健康保険特別会計（2回目の補正）	
1,150万円 増	23億5,980万円
下水道事業特別会計（1回目の補正）	
30万円 減	5億5,810万円
介護保険特別会計（1回目の補正）	
3,087万円 増	9億9,297万円
■一般会計の主な補正（歳出）	
○中春別へき地保育園改築事業	100万円減額
○資源循環施設利活用整備事業 （バイオガスプラントの取得費用）	3,095万円増額
○漁業支援等緊急対策事業 （ヒトデ駆除、シマエビ藻場保全）	974万円増額
○地域貢献中小企業支援事業 （エコ型住宅の助成）	750万円増額
■国民健康保険特別会計の主な補正（歳出）	
○前年度医療給付費の確定に伴う返還金	1,150万円増額
■下水道事業特別会計の主な補正（歳出）	
○農業集落排水事業（管路工事）	180万円増額
○処理場施設管理経費	210万円減額
■介護保険特別会計の主な補正（歳出）	
○基金積立金（22年度繰越金の積立）	2,375万円増額
○前年度保険給付費の確定に伴う返還金	712万円増額

**条例を一部
改めました**

◆**町税条例等**

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例の改正が行なわれました。主な改正点は、①個人町民税における寄付金税額控除の拡充、②

租税罰則の見直し、③肉用牛の売却による農業所得の課税の特例、④上場株式等の配当所得及び譲渡所得等に対する軽減税率の適用期限の延長、⑤非課税口座内の小額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税措置の適用延長の5点です。

◆**災害弔慰金の支給等に関する条例**

東日本大震災により、国の災害弔慰等に関する法律が一部改正されたことに伴い、本条例の一部を見直しました。改正内容は、弔慰金を支給する遺族に兄弟姉妹を加え、支給対象を拡大するものです。

**条例を制定
しました**

◆**町営畜牛育成牧場の設置及び管理に関する条例**

牧場の位置および面積についての修正や指定管理に関する条項を追加するなど、改正箇所が多岐にわたること

から、条例の全部を改正するものです。



民間業者の指定管理が可能となった町営育成牧場

一般会計補正予算に対する討論

反対意見

(中村忠士議員)

中西別バイオオガスプラントを三千万円余りで買い取るという提案ですが、そもそもこの施設は町に無償譲渡されるという話で経過してきました。

無償譲渡は不適切との判断を国がしているという説明ですが、無償譲渡に向けてどのような努力をしてきたのか町長に質しました。しかし、明確な説明を受けることはできませんでした。

この施設は活用していかねければなりません。だからこそ、見通しの甘さを直視し、そこから教訓や反省をくみ出していくべきですが、町にその姿勢は見られません。

賛成意見

(戸田博義議員)

無償譲渡で進めてきたことも事実ですが、相手があることで、最後になれば取引ということになり、大抵は残存価格そのもので買い取るというのが通常の取引ではないかと思えます。

無償譲渡を前提に処分方法を長い間国と協議してきましたが、無償による財産処分は課題が残るといった判断をされたということは前部長が明言しています。財産管理上不適切という国の判断がありましたが、その後も、町や開発土木研究所ではいろいろな努力をしてきたと私は評価しています。



土地と施設買い取り費用は約3000万円（バイオガスプラント）

町道の路線認定および廃止をしました

一路線(三、三四二・一四M)を認定し、二路線(六、一三四・三五M)を廃止しました。これで、町道の総延

委員の推薦を承認しました

◆人権擁護委員の推薦 任期満了に伴い、岡部雪子さん（西春別駅

長は、一、一九七・二六kmとなりました。

国・道に意見書を提出しました

◆地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 丹羽 勝夫 議員 他五人

深刻な経済状況の中、地域の雇用や社会保障を守る上で、地方自治体の役割が重要になっていることから、来年度予算の地方交付税措置等の一層の充実・確保等を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。



再任された岡部 雪子さん

前)の再任を承認しました。任期は、平成二十四年一月一日から平成二十六年十二月三十一日までの三年間です。

◆釧路・根室地域における看護専門学校
の早期開設等に関する
意見書

提出者 西原 浩 議員
他四人

地域医療や介護サービスを支える看護師が不足し、釧路・根室管内においても人材の確保が深刻な問題となっています。

地域における人材は、地域の医療機関等で育成し確保することが必要であることから、看護専門学校の新設・根室地域への早期開設について支援を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆原発からの撤退、自然エネルギーへの転換を求める意見書

提出者 瀧川榮子 議員
他一人

東日本大震災による

福島第一原発事故の発生からいまだ収束の目途が立たず、周辺自治体住民を含め放射能漏れによる生活への影響は甚大なものになっています。このことから「エネルギー基本計画」を根本的に見直し、自然エネルギーへの転換を推進するよう求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆JＲ三島※・貨物会社の経営安定化に関する意見書

提出者 木嶋悦寛 議員
他五人

国鉄が民営化されて以来二十四年、JR各社は公共交通機関として、不採算であっても生活福祉路線として責務を果たしてきたが、人口減少や景気の低迷により依然厳しい経営状況にあります。

これまでの税制面での支援措置が今年度末

で期限切れを迎えようとしていることから、経営安定化に向けた支援措置の恒久化を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

※JＲ三島
JＲ北海道 同四国、
同九州のこと

◆道路の整備に関する意見書

提出者 安部 政博 議員
他五人

広大な面積を抱えながら鉄道などの公共交



総合計画に基づいて計画的に道路整備が進められています

通機関のない当町にとって、町民生活に欠かすことのできない道路整備に必要な予算を確保するとともに、地方の自主性・裁量性を重視した制度とすることを求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書

提出者 瀧川榮子 議員
他一人

社会諸情勢の変化に

に伴い、国民健康保険加入者の低所得化や医療費の増大などにより、国保会計は慢性的な赤字に陥り加入者の保険税負担が増加しています。

このような事態に至る原因のひとつに国庫負担率の引き下げがあり、放置すると制度そのものが崩壊しかねない状態であることから、国庫負担割合の引き上げを求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆TPP交渉への参加を行なわないよう求める意見書

提出者 沓澤 昌廣 議員
他五人

北海道の酪農・水産業は、国民への食料安定供給の重要な役割を果たし、国の食料自給率の向上にも寄与しています。重要品目の関税が撤廃された場合、



人工林はこまめな整備が必要です

地球温暖化の防止、
国土の保全・水源のか

提出者 安田輝男 議員
他二人

◆森林・林業・木材産
業施策の積極的な展
開に関する意見書

農業や関連産業の継続
が困難となります。
本道地域社会や経済・
雇用に関与する影響を
与えるTPP交渉への参
加を行なわれないよう求
める意見書が提出され、
全員の賛成で可決され
ました。

ん養に加え、地球環境
に優しい社会づくりの
推進など、森林に対す
る期待が増大する中、
森林・林業の担い手で
ある山村が崩壊の危機
に立っています。
このことから、森林
整備を着実に推進し、
林業の安定的発展と山
村の活性化を図るため、
国産材の利用促進など
により、森林・林業の
再生に向けた取り組み
を推進することなどを
求める意見書が提出さ
れ、全員の賛成で可決
されました。

別海町議会が新たな動きを開始しました

「議会報告会」2011を開催

町議会が町民の負託に応え、協働のまちづくりを実現するために、議会と町民との連携が重要です。

本年4月に施行された自治基本条例にも規定されているとおり、情報の共有と町民参加をはかるため、地域に出向き、議会活動の状況などを町民に報告するとともに、議会に対する町民の意見や町政に対する提言などを直接聞く場として「議会報告会」を開催します。

議会報告会の内容

- ①議会活動活性化の取り組み報告
- ②各常任委員会の活動報告
- ③議会や町政に対する意見交換

多数のご参加をお待ちしています

日程と会場

- ①中春別地区
11月22日(火) 午後1時～3時
中春別福祉館
- ②尾岱沼地区
11月22日(火) 午後6時～8時
尾岱沼地域センター(きらくる)
- ③別海地区
11月24日(木) 午後1時～3時
交流館ぷらと
- ④西春別地区
11月24日(木) 午後7時～9時
西春別ふれあいセンター



(写真は平成22年度の意見交換会のようす)

町政の ここが聞きたい

9月定例議会では2日目(9月14日)に4議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。詳しい議事録はホームページに掲載します。

■中村忠士 議員

- 1 自衛隊の演習から町民の安全を守るために
自衛隊車両事故の原因究明と再発防止を……………9
- 2 東日本大震災に関わる災害廃棄物の広域処理について
災害廃棄物処理受け入れは、放射性汚染がないことが条件……………9
- 3 戦争史跡・証言の発掘・保存について
「歴史・文化遺産認定事業」の周知を……………9

■西原 浩 議員

- 1 (株)べつかい乳業興社と(有)別海酪農研修牧場の経営ホールディングス[※]について
酪農工場と研修牧場の方向性は……………10
- 2 (株)安愚楽牧場と預託契約している農家への支援は
安愚楽牧場の倒産による当町の影響は……………10
- 3 北方領土返還運動を継続していくために
子どもたちの世代に北方領土に対する正確な知識を……………10

※ホールディングス…持ち株会社のこと

■瀧川榮子 議員

- 1 脱原発と脱原爆について
役場庁舎内での原爆展の開催を……………11
- 2 中西別のバイオガスプラントの譲渡に関して
バイオマス構想の今後は……………11

■森本一夫 議員

- 1 災害発生時の対応と整備を
浄水場改築計画と水道施設の管理は……………12

詳しくはホームページをご覧ください

別海町議会

検索

中村議員

自衛隊車両事故の原因究明と再発防止を

町長 再発防止について
自衛隊に申し入れました

質問

八月二十三日、自衛隊の大型車両が横転する事故が起きました。タイミングによって民間人を巻き込む大事故になっていた可能性があります。自衛隊に嚴重抗議し、原因など事故の詳細を公表させる必要があります。

水沼町長

当日十時過ぎ駐屯地へ申し入れを行い、二十五日には駐屯地司令に直接会って、交通安

十日に演習場周辺の方にファックス等でお知らせしました。今後もこのような形でお知らせします。

質問

最近ヘリの超低空飛行がされるなど自衛隊演習の危険な状態が続

いています。町に危機感はありませんか。

水沼町長

その都度要請してきましたが、いまだ見られることは残念です。申し入れを続けます。

中村議員

災害廃棄物処理受け入れは、放射性汚染がないことが条件

町長 その点をクリアしていくことは当然です

質問

東日本大震災による災害廃棄物の広域処理に関する経緯は。

田村福祉部長

受け入れ可能量について、四月十三日付で環境省から調査依頼がありました。

本町の最終処分場では五百七、根室北部広域連合では二千七を受

け入れ可能と回答しています。

質問

今回の調査はあくまでも可能量の調査であり、廃棄物の内容、種類、性状が確認できた段階で改めて受け入れ量を含めて再検討することになっています。

質問

最低でも、①町民への情報伝達と町民の理

中村議員

「歴史・文化遺産認定事業」の周知を

教育長 町民への周知徹底を
していきたいと思ひます

質問

町の歴史・文化遺産を認定する「みんなの宝物リスト事業」の周知が必要で

ています。

宣伝が不十分なので、町民に周知徹底をしていきます。

山口教育長

地域の歴史や文化を町の遺産と認定し、保護保全の手伝いをしたいと考え



柏野地区に残された奉安殿
(戦時中天皇の写真を置いた建物)

水沼町長

基幹産業に大きな影響を与えることは絶対あつてはならないと思ひています。

ご指摘の点をクリアしていくことは当然です。

中村忠士議員



西原 浩 議員



質問

乳業興社の民営化に向けた今後のタイムスケジュールと、研修牧場の運営スタイルは。

土井産業振興部長

乳業興社は、安定的で継続性のある取引先を確保して、経営の安定を図ることを優先する必要があります。民営化のスケジュールについては、再検討する予定です。研修牧場は担い手の育成のためにも、町もJAも応分の負担をしていきます。

質問

持ち株会社の構想、経営ホールディングスの今後の展開は。

西原議員

酪農工場と研修牧場の今後の方向性は

副町長 ホールディングスという経営形態を目指します

またそのメリットは。

磯田副町長

研修牧場と酪農工場の一体的な経営改善を検討した結果、効率的な経営形態としてまとめたのがホールディングスです。

質問

農業の六次産業化を推進するために酪農工



酪農の担い手になると研修を積む研修生 (町の研修牧場で)

む考えはありますか。

土井産業振興部長

消費者と酪農家を直接結び付ける中核拠点として、別海町ブランドの浸透を図り、産業の振興を推進します。参加体験型プログラムによる観光客の受け入れなどを推進します。

また、加工体験施設などを利用してグリーンツーリズムに取り組

西原議員

安愚楽牧場の倒産による当町の影響は

産業振興部長

町内八戸で、約千三百頭飼育しています

質問

安愚楽牧場と和牛の預託契約をしている農家戸数とその影響は。

土井産業振興部長

町内では八戸の預託先牧場で、繁殖用の雌牛の黒毛和牛が約千三百頭飼育されています。二か月分の預託料が

質問

根室管内の対策協議会とはどのように協議していますか。

水沼町長

振興局などの関係機関、また、それぞれの

子どもたちの世代に北方領土に対する正確な知識を

西原議員

教育長 北方領土の事を詳しく記述している教科書を採択しています

が改訂されますが、改訂された教科書の記述は、子どもたちが、我が国の領土に対して正確な知識を得られると考えますか。

山口教育長

根室管内一市四町が使う教科書として、どの教科書が一番適当なのかという時に非常に重要なのが、この北方領土問題です。北方領土の事をできるだけ詳しく記述しているものを採択するようにしています。

質問

北方領土返還運動を継続していくためには、今行われている運動のほかに、子どもたちの世代にも正確な知識を教えていく必要があります。

来年四月から教科書

団体と連携を取りながら情報を共有し、安愚楽牧場の清算の推移を注視しています。

土井産業振興部長

町と農業団体で連携を取りながら、どういった形で資金対応などの支援ができるか、検討していきます。

議員 瀧川 役場庁舎での 原爆展の開催を

教育長 町民が戦争の歴史を
知る機会を設けていきます

質問

世界で、脱原発と脱原爆への舵を切り始めています。原爆による放射能が人間や生きるもの全て、そして地域社会に与えた影響を知ることは大切です。

別海町は「平和の町宣言」をし、町長は平和市長会議にも早くから参加しています。

その意味からも役場庁舎での原爆展開催は大切な取り組みになると考えますが。

山口教育長

役場ロビーは、不特定多数の住民が行き交う場であり、町民に原爆の悲惨さを知ってもらう絶好の場所です。

写真の一部はシヨックキングなものもあり、展示パネルを厳選したり展示方法を工夫し、状況が整えば、機会を見て、行いたいと考えています。

今後「原爆と人間展」のパネルの公開、活用、貸し出しを図り、町民が戦争の歴史を知る機会を設けていきたいと考えています。

議員 瀧川 バイオマスタウン 構想の今後は

産業振興部長
小型分散型にも道を開いていきます

質問

積雪寒冷地におけるバイオガスプラントの研究成果が平成十七年に出されています。その後の成果は。

土井産業振興部長

平成十七年度からは町内乳業工場の廃棄物

寒冷地だからこそ必要な支出もあると考えていますが。

土井産業振興部長

外国製の機械が非常に多い施設で、多額の修繕費を要したことがあり。通常のメンテナンスで故障を未然に防ぐ管理体制を構築していきます。

発酵のため加温が必要で三百万円ほど重油代がかかっています。

質問

施設管理上、大きな修理が必要となったときの利用農家の負担はどう考えていますか。

水沼町長

どの程度の故障があるかなどいろいろ考えられますが、状況に依り協議、相談しながら対応していきます。

質問

バイオマスは広い範

囲に存在しており、収集の労力、費用、時間が多くかかるという難点があり、事業を行っていく上で経済性が懸念されています。

当町は酪農畜産家の飼養頭数も多く、発生源での利活用、小型分散型も考えられますが。

土井産業振興部長

共同型施設が採算面では効率的と言われていますが、個別型施設ではエネルギーの弾力的な運用が可能です、他からの原料受け入れがない分安全だと言われています。

導入する農家の意向を尊重し、小型分散化にも道を開いていくような形で考えたいと思っています。

質問

経済性の他、

数値化できない価値の評価も重要です。環境教育など間接的・副次的効果の検証についての考えは。

水沼町長

臭気削減の評価としての数値化は難しいですが、実効性あるものとして評価すべきと考えています。

施設視察による教育手段として今後も活用していきたいと考えています。



開設後11年がたった中西別バイオガスプラント

議員 瀧川



森本一夫議員



議員 森本
**浄水場改築計画と
水道施設の管理は**

建設水道部長

有利な補助制度を検討しています

質問
別海浄水場、西春別浄水場は、建物の経年劣化により、浄水機能が低下しています。

水道の根幹である浄水場が地震で被害を受けた場合、配水池に貯水された水道水しかありません。
浄水場の新設、改築計画は。

根本建設水道部長

別海浄水場は三十五年以上経過し、経年劣化が進み、耐震化がされていません。

新築の場合四十億円、耐震構造への改築でも同程度の経費が必要で、当分の間、長寿命化措置で対応し、有利な補助事業があれば活用し

たいと考えています。西春別浄水場も計画的に施設の延命化を図っていきます。

質問

現在、国営事業を活用していますが、その他に有利な補助制度を検討していますか。

根本建設水道部長

現在、道や開発局から情報を収集している状況です。

質問

釧路沖、北海道東方沖地震で、道路や水道が大きな被害を受けました。

現在、施設の維持管理は民間に業務委託しています。災害発生

時の対応と復旧にかかわる体制は。

根本建設水道部長

基本的に、別海町地域防災計画に基づき、水道対策班でマニュアル



西別岳ふもとの水源地 町民の命の源

ルに沿って対応します。別海町指定給水装置工事事業者九社と復旧活動などについて協定しています。

日本水道協会の道東地区三十九市町村で災害時相互応援に関する協定をしており、体制は整っています。災害時のシミュレーションを繰り返しながら災害に備えていきます。

追跡レポート
一般質問 その後

定例議会で行われた一般質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

**子宮頸ガン予防ワクチン
接種の費用助成を**

(平成22年6月定例議会)

質問

子宮頸ガン予防ワクチン接種費用は高額です。費用負担の助成が

必要と考えます。

答弁

国・道の補助制度の動向を見きわめ負担軽減の検討をします。

その後の状況

中学一年生から高校一年生を対象に全額助成をしています。

町内の学校を巡回し接種を実施しています。接種率は八七%です。学校現場と保健センターで連携を取りながら進めています。

■子宮頸ガン予防ワクチン接種人数(人)

	中1	中2	中3	高1	合計
対象者数	73	75	68	69	285
接種者数	66	69	56	57	248

6月定例議会から9月定例議会までの間に行われた福祉医療・産業建設各常任委員会の活動についてお知らせします。



札幌西区の清明庵を視察する福祉医療常任委員

福祉医療 常任委員会

ユニット型特別養護 老人ホーム視察調査

昭和四十九年に開設された特別養護老人ホームは老朽化し、新ホーム建設が望まれており、町では個室型の建設を検討しています。

九月二十八・二十九日、すべて個室型の三

施設を視察調査しました。

個人の空間の確保によるプライバシーの尊重は、生活の質の向上にもつながり、ゆつたりとした室内は家族との交流にも快適な場といえると感じました。

居室や居室内トイレに換気扇を設置し、臭気が室内にこもらないように、また全室中庭に面し、光と外気の取り入れがしやすいなど、省エネのための工夫がされています。

床材はソフトな材質を使い、転倒しても衝撃を和らげるなどの考慮もありました。

今後の建設に向けても様々な助言があり、現場職員の声を十分聞いていく重要さを認識

委員長	松原政勝
副委員長	西原浩
委員	渡邊政吉
委員	山田信
委員	瀧川榮子
委員	木嶋悦寛

産業建設 常任委員会

八月九日の調査

郊楽苑の現地調査と第三セクターの経営状況について所管事務調査を行いました。

郊楽苑現地調査では、薪ボイラー設置状況などについて詳しい説明を受けましたが、評価については、一年間程度推移を見る必要があるようです。

郊楽苑施設整備については、今後五年から十の間に約三億円ほどかかる見通しであると

しました。

視察したユニットケアが大切にしていることは、「介護が必要な状態になっても、ごく普通の生活を営むこと」です。入居者本位の運

営を確立するために、専門的人材の確保や育成に早い時期から取り組んでいく必要があると強く感じた視察調査となりました。

委員長	小林敏之
副委員長	沓澤昌廣
委員	中村忠士
委員	戸田博義
委員	安部政博
委員	松壽孝雄

の説明を受けました。

乳業興社や研修牧場の今後の運営方針が必ずしも明確でないなどの意見が委員から出されました。

九月六日の調査

引き続き、第三セクターの経営状況について所管事務調査を行いました。

乳業興社の借入金の推移について説明がされました。

現在、乳業興社の借入金はないとの説明で

した。

資源循環施設譲渡について、約三千万円で国から買い取るの説明があり、各委員から唐突で経緯や見通しが見えない、説明不足はないかななどの意見がありました。

さらに、安愚楽牧場にかかわる説明を受けました。

委員会として、今後とも必要な調査を継続する予定です。



郊楽苑薪ボイラーを視察する産業建設常任委員

議会のうごき

わかりやすい議会だよりを目指して

全国議会広報研修会 (7月28・29日 東京)

初日は佐竹秀雄氏を講師に「わかりやすい文章表現・表記について」を学びました。

わかりやすい文章のポイントは、
①箇条書きの精神（ひとまとまりの文章にする）

②予約の精神（次に何を述べるかあらかじめ知らせる）

③定型的な文章は定型

を守る、などです。

次に芳村潔氏を講師に「議会広報のリニューアルの視点」を学びました。キーワードは

「身近さ十わかりやすさ十議会の活力」です。具体的なアプローチとしては、

①目を引くタイトルをつける。

②読む気にさせるために紙面をビジュアル化するなどです。

次の日に城市創氏の「議会広報クリニック」を受けました。

当町の議会だよりの改善点としては、表紙の写真を大きくする、タイトルとのバランスを考慮する、一般質問は議員名だけでなく顔写真



全国から500人を超える参加者があった議会広報研修会

議会運営責務の重大さを実感 議会運営委員会研修 (8月3日 札幌)



勢旗事務局長を講師に議運研修が行われました

を入れた方がよいなどでした。その他にも文章表現

北海道町村議会議長会事務局長勢旗了三氏を講師とし、「議会の諸相と議会改革」をテーマに研修が行

の改善などを指摘されました。

他の議会広報のクリニックも一緒に受け、校正の仕方、段落の統一など編集テクニックについても学びました。

われしました。

今春の統一地方選は、三十四町村で定数不足、無投票当選。その背景に何があるのかが問われています。

そういう状況をふまえ、勢旗氏から様々な提起がされました。

議会関係法規の遵守、政策提言も含めた常任

歴史のある広報誌ほどその素晴らしさに感心し、我々の議会だよりもさらに改善すべきと実感した研修でした。
(西原浩委員)

委員会の活性化や一般質問の充実など議会改革、議員の資質向上をはかることから、議会の通年開催制、夜間・休日の議会開催や、議会報告会の積極開催など議会と住民の交流に関することまで多岐にわたる内容でした。

参加した委員からは、町長の執行方針の提出時期や議案の配布時期などについて質問があり、活発なやりとりがなされました。

委員一同身の引き締まる思いをし、議会運営に関わる責務の重大さをあらためて痛感した研修会でした。
(佐藤初雄委員)

第十五回 全道総合畜産共進会および 鹿追町行政視察 (9月3・4日)

九月三〜四日の両日、安平町で開催された、道ホルスタイン共進会場で、全道から乳用牛ホルスタイン種四百二十一頭が、当町からは三十六頭が出品され、うち二頭が一等賞の栄冠に輝きました。



全道から選りすぐりの牛たちが集まった畜産共進会(安平町)

今回の主任審査員はカナダの酪農家ラム・マッキンベン氏で、全道からの優秀牛出品なので慎重に審査をしていました。

鹿追町は純農村地帯であり、持続性のある農業の創造を目指し、平成十八年にバイオマス構想を樹立しました。バイオマスプラント・堆肥化プラントおよび汚泥処理施設と併せて「環境保全センター」を設置し、家畜ふん尿、生ゴミ、下水汚泥などの地域資源を有効活用しています。

地域循環型農業の実



鹿追町環境保全センターを視察する産業建設常任委員

現とクリーンな町づくりを進めています。当町も、無限にある家畜ふん尿等の資源を有効活用し、自然エネ

ルギー普及に地域で取り組まなければならぬと強く思いました。(松壽孝雄委員)

平成二十二年度 各会計決算審査特別委員会の審議始まる

平成二十二年度一般会計・国保会計など九会計の決算内容を審査するため、各会計決算審査特別委員会が設置されました。

の定例議会で全議員に報告された後、認定について採択します。決算委員会の構成は下記のとおりです。

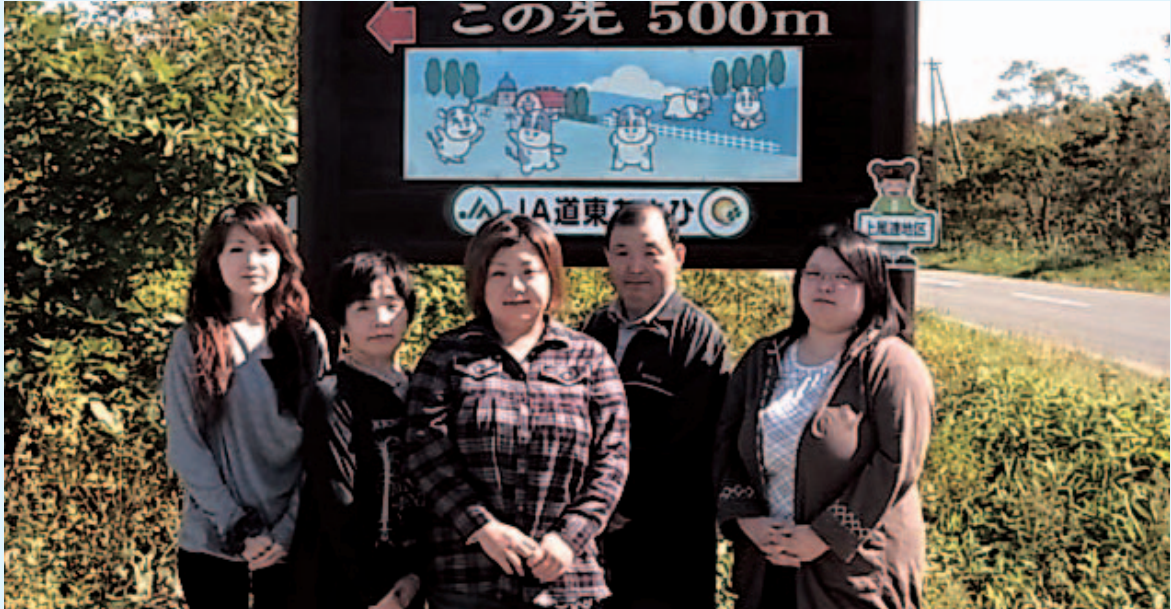
審議は十〜十一月にかけて行われ、十二月

委員	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員
丹羽 勝夫	西原 浩	安田 輝男	瀧川 榮子	小林 敏之	沓澤 昌廣	今西 和雄	松壽 孝雄		

志を受け継ぐ

早くお婿さんを見つけて両親を安心させたい

安部牧場（上風連） 安部早由里 さゆり



牛も草も牧場も大好きな安部家のみなさん（中央が早由里さん）

「私家が継ぐよー」と四人姉妹での話し合いで私は言い、四年前の春、家に後継者として帰ってきました。

それまでは十勝で酪農ヘルパーとして働いており、頑固者の私は、自分の意見や考え方が変えられず、素直に父の話を聞けずしていました。言い合いや喧嘩もしており、自分の部屋に閉じこもっていることが多かったと思います。

帰ってきてから四年、いろんな行事や勉強会に参加し、今では素直に話を聞けるようになったと思います。

これからは、父にパソコンでの経営管理のやり方や、機械の操作の仕方、ロープの縛り方などたくさん教えてもらおうと思っています。でも、一番の目標は、早くお婿さんを見つけて両親を安心させてあげることです。

今年、牛舎を増築したので、今まで以上にがんばります。今回はありがとうございます。

編集後記



新シリーズの「志を受け継ぐ」も二回目。前回は浜の若者が登場。今回は酪農後継青年、しかも女性に登場いただきました。また、一般質問のコーナーは、質問者の顔写真を載せ、質問者一人につき一ページを割り当てることとしました。

より臨場感のある紙面にするとともに、議会だより全体のバラエティーを増すのが目的です。

ご感想などお寄せ下さい。（中村委員）

研修会で学んだことを「議会だより」に反映させていこう。編集会議で編集方針を確認。

しかし、編集作業に入ると作業は難航。議会図書室では苦悩の声が……。原稿用紙と格闘しながら、文字数を確認し、パソコンと向き合っています。

リニューアルした今号のできればはいかがでしょうか。

なお、詳しい議事録をご覧になりたい方は、二〜三か月のタイムラグはありますが、議会のホームページにてアップしています。（西原委員）

（訂正）58号8ページ二段目にある「五億円」は、「十五億円」の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

つながり愛・ささえ愛・思い愛 震災からの復興をみんなの力で!!